

【INACOME】起業者と地域課題のマッチングプログラム 実施レポート

作成日：令和3年2月28日

作成者：Step Bliss 鷹取 浩一

■属性

受入希望自治体：静岡県静岡市②

地域課題テーマ：地域資源を活かした新たな事業の創出（農産物の高付加価値化、交流・体験ビジネスの創出）

マッチング起業者：Step Bliss 鷹取 浩一

■レポート内容

1. 提案概要

<テーマ>

奥長島（静岡市葵区）のだんだん茶畑を活用したイベントの実施

<提案内容>

当方、岐阜県中津川市にて、畑のオーナー制度と、農業体験型イベントを運営し、来年度に確立できるよう進めております。実際に、農薬・肥料不使用で作付けを進めており、そこで収穫できた食材を取り扱い、料理提供イベントを開催しております。定員13名で毎回満席となっております。そこで今回は、静岡県奥長島地域のだんだん茶畑を活用させていただき、無農薬茶畑を活用した体験型イベントを開催します。お茶の販路を開拓し、生産者と消費者が直接つながることのできるプラットフォームを作ります。

2. 調査報告

<調査スケジュール>

2月18日 静岡県の源久様と電話でお打ち合わせ

2月19日 源久様より、メールにて現地情報のご共有

2月20日~22日 現地の情報と類似土地を事前調査

2月23日 源久様と電話にてお打ち合わせ

2月24日 現地の農家さん、勝山様と電話で打ち合わせ

2月25日 源久様と電話にてお打ち合わせ

2月26日~28日 勝山様と源久様にレポート内容の相違有無を確認

<調査結果の詳細>

2月18日 静岡県の源久様と電話で打ち合わせ

今後のスケジュール、解決したい土地をご共有いただき、改めて土地のオーナー制度と体験イベントを導入することを提案する。

対象の土地を探していただけることとなった。

2月19日 源久様より、メールにて現地情報のご共有

現地の情報サイト、実際に行われた各イベントをご共有いただく。
過去のイベントは、茶の木の間引き、茶摘体験、おむすびセット・茶つきり饅頭の販売を行っていたことを知る。

2月20日~22日 現地の情報と類似土地を事前調査

静岡県、鹿児島県、高知県にある段々茶畑を事前調査。
事前調査の結果、無農薬でお茶を作っている農家ほとんどいないこと、有機JASマークを取得している農家さんも全体の5%前後にしか満たないことを知り、その難易度の高さを知る。同時に、5%内の茶畑を運営している農家さんは自給自足のみには過ぎないこと。その要因として、茶工場に卸しても農薬使用茶葉と混ぜられ、自然栽培としての価値が薄れることが問題点として挙げられた。

2月23日 源久様と電話にてお打ち合わせ

源久様、農家様、当方の3者日程が合わないため、個別に農家さんの勝山様をご紹介いただく。2/24に勝山様と打ち合わせが確定。

2月24日 勝山様と電話で打ち合わせ

就農の背景、現状の課題、過去イベントの詳細、今後の展望を伺い現状を把握。より現地を知るために、勝山様のSNS、過去イベントサイト、提携先の情報を拝見。また、勝山様は、茶摘後知人の工場にて単独で作業をされていることを知る。更に、保護猫を迎え入れており、猫とふれあいながら楽しめるイベントを起案していることを把握。

2月25日 源久様と報告も兼ねて、改めて今後の方針のすり合わせ

勝山様との打ち合わせ内容の報告、課題解決方法のすり合わせ、今後のスケジュールの調整。

2月26日~28日 勝山様と源久様にレポート内容の相違有無を確認

大まかな変更点は無く、細かい団体名等を見直す。

現在、愛知県に緊急事態宣言発令中のため、解除後に3者対面で打ち合わせ、現地訪問、具体的イベント内容の共有を行う予定。
引き続き、電話やオンライン面談を通して、現地調査と提案内容をブラッシュアップしていく流れとなった。

<考察>

現地調査の結果、主に課題点は3つある。

1.地域ぐるみの保全活動は行われてはいない

- 2.土地を活用しようと試みていらっしゃるが、勝山様1人のため、リソース不足
- 3.茶畑に手伝いに来てくれる人が少なく、茶畑の整備が追いついていない

茶畑を無農薬・無肥料で運営していることから、日々の草刈りがままならず、アイデアはあるものの、土地の活用まで至ってないことを理解した。
また、近隣の方々は自身で所有されている農作業に手一杯で他者の農作業までサポート、関与できない現実があることを知る。

ただ、就農から8年経ち、勝山様の考えと行動とでここまで継続し続けたことで、メディアや農林水産省、民間企業と連携する実績を残されている。具体的には、茶畑にもかかわらず、棚田カードへの掲載や、ネットトヨタ様との提携が挙げられる。
また、奥長島だんだん茶畑まもり隊、しずおか棚田里地くらぶ、ネットトヨタのチャプカ隊の方々が、月1回のボランティア+日々のサポートを行っていらっしゃることから、今もなお継続し続けることができている背景を知った。

3. 対象地域における今後の事業展開

上記課題解決のため、下記提案を行う。

1.地域ぐるみの保全活動は行われてはいない

その地域だけに留まらず、他市区町村を巻き込み事業拡大する。

車でのアクセスが最寄りインターチェンジから15分と非常に良いため、他県からの集客も見込めると判断した。また、近隣住民の方は、非協力的であるわけではなく、各々が自身の畑で精一杯であることが否めないため、集落全体を活性化させる方向で動いていく。

2.土地を活用しようと試みていらっしゃるが、勝山様1人のため、リソース不足

定期的に現地に訪問し、今後の展望のすり合わせを行う。

現在、奥長島だんだん茶畑まもり隊、しずおか棚田里地くらぶ、ネットトヨタのチャプカ隊の方々が毎月草取りなどの支援に来ていただいているため、当方も定期的に訪問し、サポートを続けていく。新型コロナウイルス感染防止のため、感染状況を鑑みてイベントを開催する方向。

3.茶畑に手伝いに来てくれる人が少なく、畑の整備が追いついていない

体験イベント事業の一環として、茶摘だけではなく、草刈りなどの業務も体験として盛り込みサービス提供していく。

具体的には、茶畑のオーナー制度を導入し、オーナーには草取り～茶摘まで、一貫して取り組んでもらえる仕組みを作る方向とする。

今後の展開として、県・市・地区関係者様との調整状況にもよるが、以下のスケジュールで対応を進める。

2021年3月：緊急事態宣言解除後、現地訪問し、3者面談予定

2021年4月：第一回イベントの開催周知予定

2021年5月：第一回イベントの開催予定

2021年5月以降：引き続きイベントを企画し、集客を進める。

上記スケジュールは、新型コロナの感染状況を鑑みた上で、企画検討を進めていく。

以上